

警戒レベルに関するQ & A

Q 1 警戒レベルは、秦野市独自のものですか？

A 1 全国統一で運用が開始されています。

Q 2 何故、警戒レベルができたのですか？

A 2 平成30年7月に発生した西日本豪雨では、様々な防災情報を発信しましたが、情報が分かりにくく、住民の避難行動に結びつかなかったため多くの方が犠牲となりました。

この教訓を踏まえて、内閣府で住民の方が情報の意味を直感的に理解ができるように、警戒レベルを防災情報に追加しました。

Q 3 警戒レベルって何ですか？

A 3 居住者がとるべき行動と居住者に促す情報を関連付けるものです。

警戒レベルを用いることで、居住者の方などは避難の判断をするタイミングが明確になりました。

Q 4 警戒レベルが導入されたことで、今までと何が変わるのですか？

A 4 皆さんの行動は変わりませんが、6月末からは、警戒レベルを踏まえた避難情報を市から発令しますので、その時はHPに掲載している「風水害土砂災害における私の行動表（秦野市版）」に従って行動をお願いします。

Q 5 警戒レベル1、2は市町村が発令するのですか？

A 5 警戒レベル1、2は気象庁が発表するとありますが、具体的には警報が発令されそうな予報や注意報が発令された場合など、皆さんがテレビ等で収集した情報を警戒レベル1、2に置き換えていただくようになります。

※ また、市から警戒レベル1、2の情報発信はありません。

Q 6 地震も対象なのか？

A 6 洪水、土砂災害（洪水、高潮）が対象なので、地震は対象外です。

※ 火災、津波、火山災害は対象外です。

Q7 テレビなどから、警戒レベル3相当情報などの防災気象情報が発令された場合は、警戒レベル3ととらえていいの？

A7 警戒レベル相当情報とは、気象庁や県が発表する防災気象情報（大雨警報・土砂災害警戒情報など）を5段階に整理した情報です。

これにより防災気象情報と市が発令する警戒レベルの関係性を明確にすることで市が避難勧告等が発令する時期の参考にするとともに、皆さんの自主避難を支援するものです。

しかし、市が発令する警戒レベル3以上は、防災気象情報と併せて地域特性、今後の被害予測等を考慮しながら対象地域を特定して避難勧告等が発令しますので、必ずしも警戒レベル相当情報が出たからと言って、避難勧告等が発令される訳ではありません。

Q8 大雨警報は防災気象情報では「警戒レベル3相当情報」に位置付けされるが、自主避難してもいいの？

A8 警戒レベルは、防災気象情報から、皆さんが自主的に避難行動につながるように作られたものなので、積極的に避難をお願いします。

※ 警戒レベル相当情報が発表されたら、同時に避難所が開設されている訳ではありませんので、避難前に防災課へ連絡をお願いします。

Q9 避難指示（緊急）は避難勧告と同じ警戒レベル4に位置づけられたが、避難指示の考え方が変わったの？

A9 避難指示（緊急）は避難勧告発令後、状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されるもので、必ず発令されるものではありません。

避難勧告が発令された時点で、避難指示（緊急）を待たずに速やかに避難して下さい。

なお、住民の方に確実に避難していただくために、避難指示（緊急）発令時も「警戒レベル4」を再度、併せて発令します。

※ 避難指示（緊急）は発令されないこともあります。

Q10 洪水で「警戒レベル4相当情報」（氾濫危険情報）が既に発令されている中で、土砂災害で「警戒レベル3相当情報」（大雨警報（土砂災害）等）が発令された場合、洪水の警戒レベルも下がったの？

A10 洪水の危険性が4から3に下がった訳ではなく、土砂災害の危険が追加されたこととなります。

そのため、今後は洪水と土砂災害両方の災害を警戒する必要があります。

A11 警戒レベルが3から突然5に上がることもありますか。

A11 事態が急変した場合は、段階を踏まずに状況に応じて発令します。
例えば、土砂崩れが発生した場合は、警戒レベル5から発令します。

Q12 警戒レベル4が発令された場合は夜中でも、大雨でも避難するのか。

A12 警戒レベル4は、原則全員避難となっていますが、避難がかえって危険と思われる場合は、近隣の安全な場所や自宅のより安全な場所に避難してください。

※ 垂直避難や水平避難など今より安全な場所に避難して下さい。

Q13 記録的短時間大雨情報は、警戒レベル相当情報に位置付けされるか。

A13 記録的短時間大雨情報は、雨量を示す情報ですが、雨量だけでは洪水等や土砂災害の発生を予測することが困難なため、警戒レベル相当情報に位置づけられていません。

Q14 警戒レベル5の命を守る最善の行動とは、何か。

A14 警戒レベル5は、市内において災害が発生している状況を示しています。皆さんの身に危険が迫っていることは、変わりありませんが、何も行動できない程、時間が無い訳ではありません。

命を守る最善の行動とは、今の現状より少しでも安全な場所を見つけて、避難行動をとってください。